

引用文献・参考文献

- 安東久幸：理科の授業における科学史導入の意義，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学会，2004
- 中央教育審議会：幼稚園、小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)，2008
- 出野務・安田紀子：“理科嫌い”を生み出す理科授業の要因 武庫川女子大紀要(人文・社会科学) 51，2003
- 福井智紀・鶴岡義彦：理科教育における科学史の活用について－我が国における研究の外観と今後の課題－，東京水産大学論集，38，2003
- 福井智紀：大学生の科学史観に関する基礎的調査研究，麻布大学雑誌，11(12)，2005
- 池田幸夫：文化としての科学史とその理科教育への応用，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学会，2004
- 角田陸男：科学史を授業に生かす，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学会，2004
- 北原和夫研究代表：科学技術の智プロジェクト 生命科学専門部会報告書，科学技術振興機構，2008
- 北原和夫研究代表：科学技術の智プロジェクト 人間科学・社会科学専門部会報告書，科学技術振興機構，2010
- 北原和夫研究代表：
- 国立教育政策研究所監訳：PISA2006年調査 評価の枠組み OECD 生徒の学習到達度調査，ぎょうせい，2007a
- 国立教育政策研究所編：生きるための知識と技能3－OECD 生徒の学習到達度調査(PISA) 2006年調査国際結果報告書，ぎょうせい，2007b
- 国立教育政策研究所：学習指導要領データベースインデックス
<http://www.nier.go.jp/guideline/> (2013.11.24 取得)
- 国立教育政策研究所：IEA 国際数学・理科教育動向調査の2011年調査(TIMSS2011) 国際調査結果報告(概要) http://www.nier.go.jp/timss/2011/T11_gaiyou.pdf (2012) (2013.11.24 最終確認)
- 国立教育政策研究所：平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について(概要) http://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukoku/01gaiyou/24_chousanokekkani_tsuite.pdf (2013.11.24 最終確認)
- 国立教育政策研究所：PISA 調査のアンケート項目による中3調査集計結果(速報) 2008

- 松原静郎・篠田宣道・阪路裕：理科嫌いと科学的リテラシー－ 2, 3 の調査から－, 日本科学教育学会研究会研究報告, 8 (5), 1994
- 松村岳詩・寺田光宏：社会とつなぐ理科教育プログラムの開発(3) 学習内容と企業技術の関わりを視点として, 日本理科教育学会東海支部大会研究発表要旨集, (56), 2010
- 文部科学省：OECD 生徒の学習到達度調査 Program for International Student Assessment(PISA)～2006 年調査国際結果の要約～
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/071205/001.pdf (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA2006) のポイント
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/07032813/08012901.pdf (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：PISA2006 の結果を受けた今後の取り組み
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/07032813/08012902.pdf (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：OECD 生徒の学習到達度調査 Programme for International Student Assessment(PISA)～2006 年調査問題例～
[gakuryoku-chousa/sonota/071205/002.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/071205/002.pdf) (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2007)のポイント
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/07032813/001.pdf (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：中学校学習指導要領解説 理科編 2008
- 文部科学省：OECD 生徒の学習到達度調査 Program for International Student Assessment(PISA)～2012 年調査国際結果の要約～, 2013
- 文部科学省：平成 14 年度 文部科学白書 第 2 部 第 6 節 1 「科学技術・理科大好きプラン」の推進
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/html/hpab200201/hpab200201_2_187.html (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：科学技術・理科大好きプランの主な施策
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu10/siryu/attach/1335656.htm (2013. 11. 24 最終確認)
- 文部科学省：理科支援員等配置事業
http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/07012307/002.pdf (2013. 11. 24 最終確認)
- 長洲南海男監修, 熊野善介・丹沢哲郎他訳：全米科学教育スタンダード, 梓出版, 2001

- 成瀬英明・寺田光宏：社会とつなぐ理科教育プログラムの開発(2)－中空糸型透析器を利用した理科授業実践－，日本理科教育学会東海支部大会研究発表要旨集，(56)，2010
- 根本和成：探究学習と科学史教材，千葉大学教育学部研究紀要，47，I，教育科学編，1999
- 日米理数教育比較研究会編訳：プロジェクト 2061 すべてのアメリカ人のための科学，2005
- 日本学術会議：要望 これからの教師の科学的教養と教員養成の在り方について，2007
- 小倉康：平成 17 年度科学研究費補助金特定領域研究（課題番号 17011073）「科学的探究能力の育成を軸としたカリキュラムにおける評価法の開発」研究報告書 科学的リテラシーと科学的探究能力，国立教育政策研究所，2006
- 小倉康：PISA2006 における科学的リテラシーとしての態度の測定，国立教育政策研究所紀要，137，2008
- 大崎貢：科学を学ぶ意義・有用性を実感させる理科学習指導－1 年「力と圧力」における科学技術と生活や社会を関連づけた発展学習の実践を通して－，教育実践研究，(20)，103-108，上越教育大学学校教育実践研究センター，2010
- 西條敏美：高校における教材用物理学史原典資料作成とその利用，物理教育，27(3)，日本物理教育学会，1979
- 齊藤萌木・長崎栄三：日本の科学教育における科学的リテラシーとその研究の動向，国立教育政策研究所紀要，137，2008
- 佐藤隆：理科を学ぶ意義を実感させる授業づくりの実践－「科学技術と人間」をテーマとして－，日本理科教育学会関東支部大会研究発表要旨集，(45)，2006
- 猿田祐嗣：わが国の理科の教育課程の特徴と科学的リテラシー，国立教育政策研究所紀要，137，2008
- 鈴木善次：「理科教育と科学史」再論，科学史研究Ⅱ，12，1973
- 鈴木善次：特別寄稿：理科教育，そして環境教育における科学史の役割，科学史研究，46，2007
- 田中浩朗：見通しをもった顕微鏡観察をいかに実現するか－仮説実験授業における科学史活用の事例－，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学会，2004
- 土田美栄子・人見久城：理科教育における科学技術の有用性を伝える授業の開発～「磁石」を題材として～，日本理科教育学会関東支部大会研究発表要旨集，(48) 59，2009
- 塚田昭一：課題選択における知的動機づけと科学的概念を深める科学史の導入－5 年「ふりこ衝突」の実践から－，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学

会，2004

鶴田孝一・小池守・高津戸秀：科学技術の進歩する方向についての生徒の認識を深める中学校における授業実践研究－振動力発電教材を取り入れたエネルギー学習を通して－，理科教育学研究，52(1)，日本理科教育学会，2011

渡辺克己：日本の理科教育の現状と課題－理科好きな子どもを育てるために－，北里大学一般教育紀要，16，2011

山田俊弘：伝記物語再訪－科学者伝の利用法－，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学会，2004

山下芳樹：授業者の願いを伝える「科学の語り」－もの（事象）ともの（人）をつなぐ科学物語の復権を－，「理科の教育」，53(628)，日本理科教育学会，2004

山崎正勝：科学史を授業に生かすことに意味，「理科の教育」53(628)，日本理科教育学会，2004

吉岡亮衛：理科嫌いと理科離れの要因の分析，日本科学教育学会年会論文集，26，2002

研究業績

1 審査付き論文

- i 菌部幸枝, 生徒自身が科学者を紹介することによる科学・技術への興味・関心の高まり, 人間文化創成科学論叢, (15), 321-329, 2012
- ii 菌部幸枝, 滝澤公子, 室伏きみ子, 科学者人物紹介を取り入れた授業実践とその効果, 科学教育研究, 37(3), 200-207, 2013

2 研究紀要

- i 菌部幸枝, 科学者ダーウィンの紹介を取り入れた授業実践とその効果, お茶の水女子大学附属中学校紀要, (41), 1-11, 2012
- ii 菌部幸枝, 「科学技術の進歩」学習における科学を学ぶ有用性の実感を促す授業の工夫とその効果, お茶の水女子大学附属中学校紀要, (42), 21-36, 2013

3 口頭発表

- i 菌部幸枝, 滝澤公子, 室伏きみ子, 科学者人物紹介を取り入れた授業実践とその効果, 日本科学教育学会第35回年会, 2011

謝辞

本研究を遂行し学位論文にまとめるにあたり、多くの方々のご支援とご指導を賜りました。心より感謝申し上げます。

室伏きみ子教授（ヒューマンウェルフェアサイエンス研究教育寄附研究部門教授、お茶の水女子大学名誉教授）には、指導教員として4年間にわたる本研究の実質的なご指導を賜りました。特に科学教育研究（日本科学教育学会）や人間文化創成科学論叢（お茶の水女子大学）への論文投稿において、多大なるご指導とご助言を賜りました。また、学位論文完成までの間、あたたかい励ましと多くのご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

千葉和義教授には最終年度の指導教員を引き継いでいただき、学位論文の完成において多くのご指導を賜りました。深く感謝申し上げます。

松浦悦子教授、近藤和雄教授、村田容常教授、富士原紀絵准教授には、学位論文審査において、審査員として貴重なご指導・ご助言を賜りました。特に学位論文の修正段階において、研究のまとめ方や教育学の視点からの論文の書き方を含め、多くの細やかなご指導とご助言を重ねて賜りました。深く感謝申し上げます。

室伏擴先生、滝澤公子先生、佐藤明子先生、後藤真里様、前田桂様、秋山央子様、ガイ ディ様、野崎絵美様、塩満典子様、長野裕子様、深澤桂子様はじめ研究室の皆様、垣内康孝先生、堀田のぞみ様には、本研究に対して多くのご助言と激励を賜りました。感謝申し上げます。

また、本研究で考案した授業の実践前後に行った複数の調査に協力してくれましたお茶の水女子大学附属中学校 2008 年度、2009 年度、2010 年度入学の生徒の皆様にご感謝申し上げます。

本研究の一部は「社団法人 総合工学振興会 平成 23 年度科学技術普及助成」の支援を受けて実施しました。援助を賜ったことに感謝申し上げます。

これまで研究を進めるにあたり、ご支援、ご協力を賜りながらここにお名前を記すことができなかった多くの皆様にご心より感謝申し上げます。

最後に、研究生活を見守り支えてくれました夫、義父母、父母に深い感謝の意を表して謝辞といたします。